

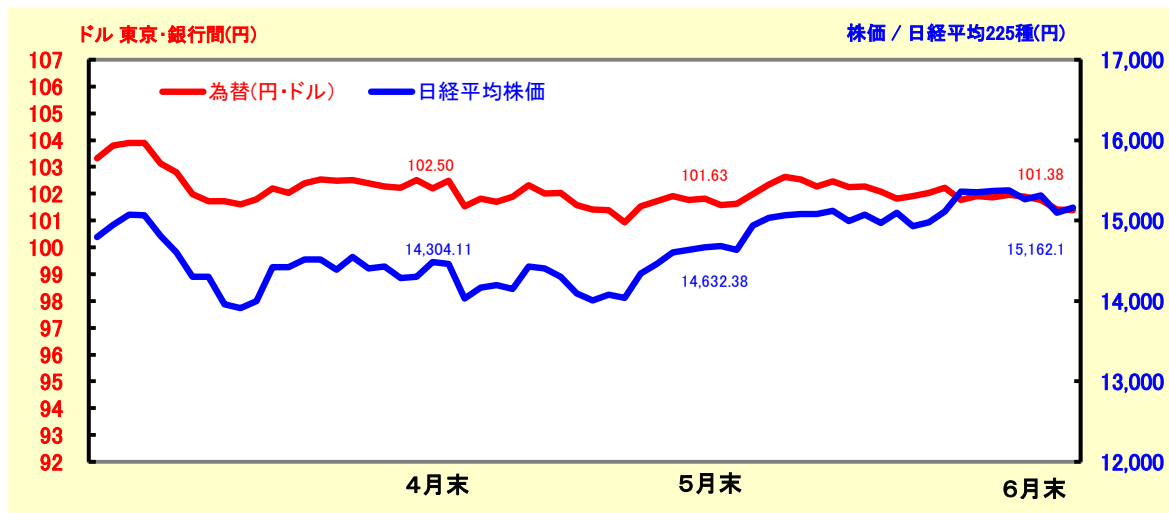
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成26年4月～6月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成26年4～6月期の業況/平成26年7～9月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成26年6月中旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

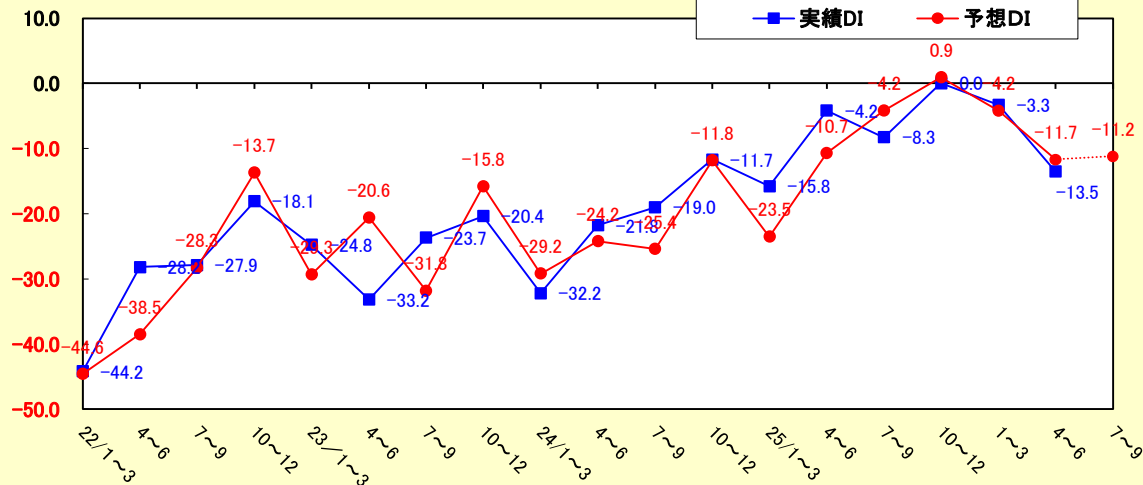
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		4~6月期実績				7~9月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総	合	▲13.5	▲25.3	▲8.3	2.5	▲11.2	▲16.5	▲16.7	12.5
製	造	▲19.3	▲18.7	▲60.0	0.0	▲9.6	▲6.2	▲20.0	▲10.0
小	売	▲36.0	▲46.1	▲22.2	▲50.0	▲27.8	▲26.9	▲33.3	▲12.5
卸	売	▲20.0	▲22.2	▲20.0	▲16.6	0.0	▲11.1	▲10.0	33.3
サ	ー	▲6.6	▲25.0	10.7	0.0	▲13.3	▲25.0	▲3.5	0.0
建	設	36.3	40.0	11.1	62.5	22.7	40.0	▲22.2	62.5
不	動	0.0	▲14.2	0.0	25.0	▲6.2	▲14.2	0.0	0.0

4月～6月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

4月～6月の調査地区全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲13.5となり、前期比10.2ポイント下降、前年同期比9.3ポイント下降となっています。

業種別の状況は、製造業は▲19.3となり、前年同期比13.1ポイント下降、小売業は▲36.0となり前年同期比12.7ポイント下降、卸売業は▲20.0となり、前年同期比同水準、サービス業は▲6.6となり、前年同期比5.0ポイント下降、建設業は36.3となり、前年同期比同水準、不動産業は0.0となり、前年同期比31.2ポイント下降となっています。

地域別では、別府地区が▲25.3となり、前年同期比13.3ポイント下降、大分地区が▲8.3となり、前年同期比7.1ポイント下降、県北地区が2.5となり、前年同期比5.0ポイント下降となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(4月～6月)の景況

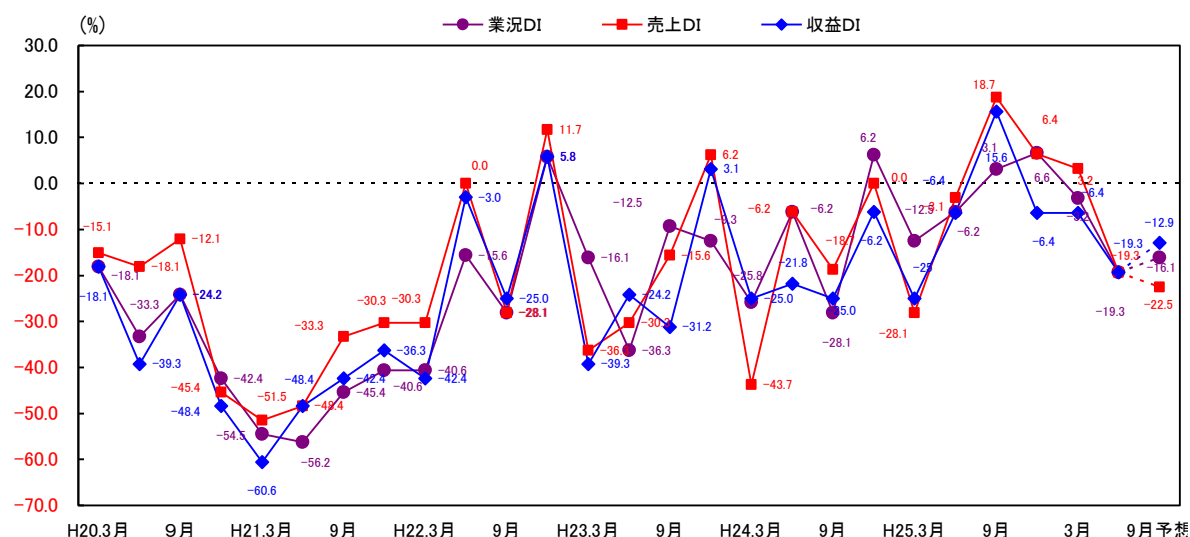
全域における業況DIは▲19.3となり前期比16.1ポイント下降、前年同期比13.1ポイント下降となっています。売上DIは▲19.3となり前期比22.5ポイント下降、前年同期比16.2ポイント下降となっています。収益DIは▲19.3となり前期比12.9ポイント下降、前年同期比12.9ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲18.7となり前期比12.5ポイント下降、前年同期比18.7ポイント下降で、大分地区が▲60.0ポイントとなり前期比60.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降、県北地区が0.0となり前期比同水準、前年同期比同水準となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは、▲9.6となり今期比9.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲3.2となり今期比16.1ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲32.2となり今期比12.9ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲6.2、大分地区が▲20.0、県北地区が▲10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	20.0%
同業者間の競争激化	20.0%
原材料高	14.2%
利幅の縮小	11.4%
人件費の増加	7.1%

最重要経営施策

販路拡大	29.8%
経費節減	26.8%
情報力強化	8.9%
新製品・技術開発	8.9%
教育訓練強化	7.4%
教育訓練強化	2.9%

経営者のみなさまの主なコメント

○仕入価格の上昇により、販売価格にバラつきがあり、利益確保が難しい。(金属製品製造)
 ○近隣商店街の過疎化により売上は減少。原材料の価格上昇も続いており商品価格の改定を行った。(食品製造)
 ○食材の値上がりや消費税の引き上げにより仕入れ値が上昇している。宣伝を増やし、利用客を増加させていきたい。(食品製造)
 ○消費税増税に伴い、昨年の同時期に比べて売上が減少しているが、月が経つごとに売上も前年同期並に戻ってきた。(食品加工)

小 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

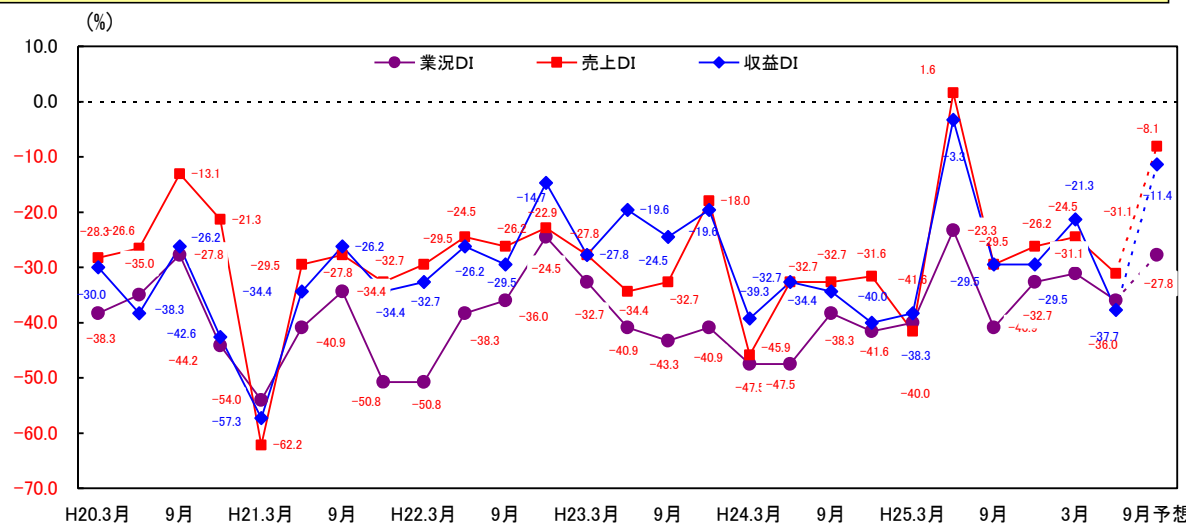
全域における業況DIは▲36.0となり前期比4.9ポイント下降、前年同期比12.7ポイント下降となっています。売上DIは▲31.1となり前期比6.6ポイント下降、前年同期比32.7ポイント下降となっています。収益DIは▲37.7となり前期比16.4ポイント下降、前年同期比34.4ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲46.1となり前期比11.5ポイント上昇、前年同期比3.8ポイント下降で、大分地区が▲22.2となり前期比7.4ポイント下降、前年同期比10.7ポイント下降で、県北地区が▲50.0となり前期比50.0ポイント下降、前年同期比50.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲27.8となり今期比8.2ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲8.1ポイントとなり、23.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲11.4となり今期比26.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲26.9、大分地区が▲33.3、県北地区が▲12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	22.5%
大型店競争激化	14.0%
利幅縮小	11.9%
同業者間の競争激化	10.5%
取引先減少	10.5%

最重要経営施策

経費節減	62.7%
品揃え改善	41.1%
売筋商品取扱	37.2%
宣伝・広告強化	33.3%
仕入先開拓・選別	17.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 昨年と比較し、売上高は増加したものの収益に変化はない。増税を機に、値上げを行った。(和菓子販売)
- 消費税増税後の4、5月は売上が伸び悩んでいる。(食料品販売)
- 消費税増税後に伴う駆込需要の多かった1～3月に比べ、現在は一段落しており、売上も一時的に減少している。(自動車販売)
- 消費税の駆け込み需要の反動減による影響が大きかった。現状を伺いながら戦略をねっていききたい。(自動車販売)
- 大型店の参入により、売上の減少が大きい。(酒類販売)
- 実店舗での売上が非常に厳しいため、ネットでの販売が半分を占める状況に変わってきた。しかし、大手同業者との競

卸 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

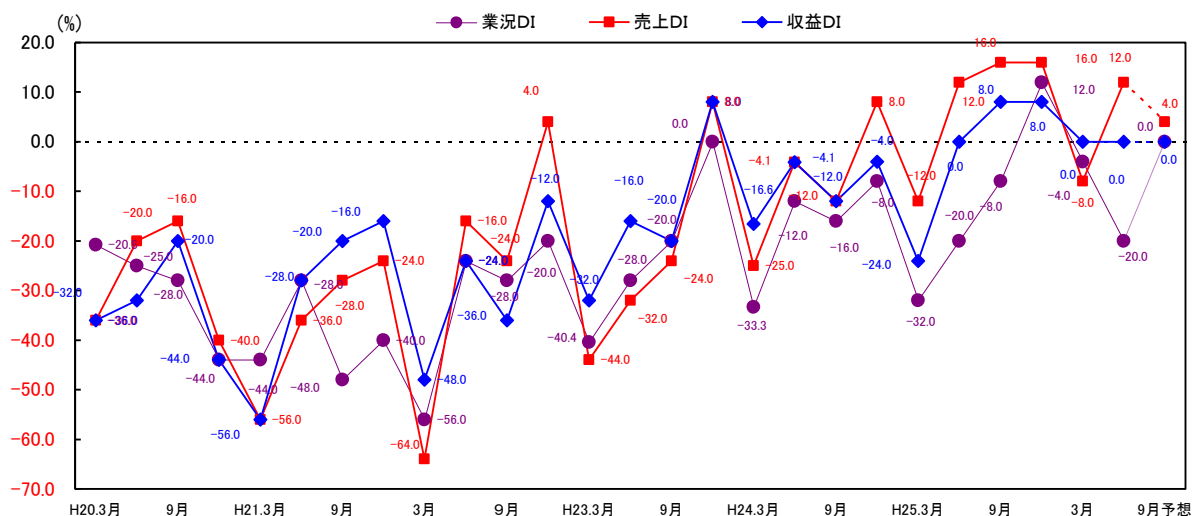
全域における業況DIは▲20.0となり前期比16.0ポイント下降、前年同期比同水準となっています。売上DIは12.0となり前期比20.0ポイント上昇、前年同期比同水準となっています。収益DIは0.0となり前期比同水準、前年同期比同水準となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲22.2となり前期比22.2ポイント下降し、前年同期比同水準で、大分地区が▲20.0となり前期比20.0ポイント下降、前年同期比同水準、県北地区が▲16.6となり前期比同水準、前年同期比同水準となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは、0.0となり今期比20.0ポイント上昇となっています。売上予想DIは4.0となり今期比8.0ポイント下降となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比同水準となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲11.1、大分地区が▲10.0、県北地区が33.3となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	18.1%
売上停滞・減少	16.3%
利幅縮小	16.3%
販売納入先からの値下要請	7.2%
取引先減少	5.4%
流通経路変化による競争激化	5.4%

最重要経営施策

販路拡大	33.3%
経費節減	25.4%
情報力強化	9.8%
品揃えの充実化	7.8%
流通経路見直し	7.8%
人材確保	5.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 販路拡大を含め営業に力を入れていくと同時に、経費削減を引き続き強化していく。(バイク用品卸)
- 取引先別に販売価格の見直し、改定を定期的に行っている。営業に力を注ぎ取引先の増加を目指す。(塗料卸)
- 仕入れ値の上昇により利幅が縮小傾向にあるが、品揃えの充実を図り売上の増加を目指す。(竹製品卸)
- 従業員の高齢化率が高く、人件費の見直しが課題である。(鮮魚卸)
- 地物の漁獲高の減少および若年層の魚離れによる売上停滞が経営課題である。(鮮魚卸)

サービス業

● 当期(4月～6月)の景況

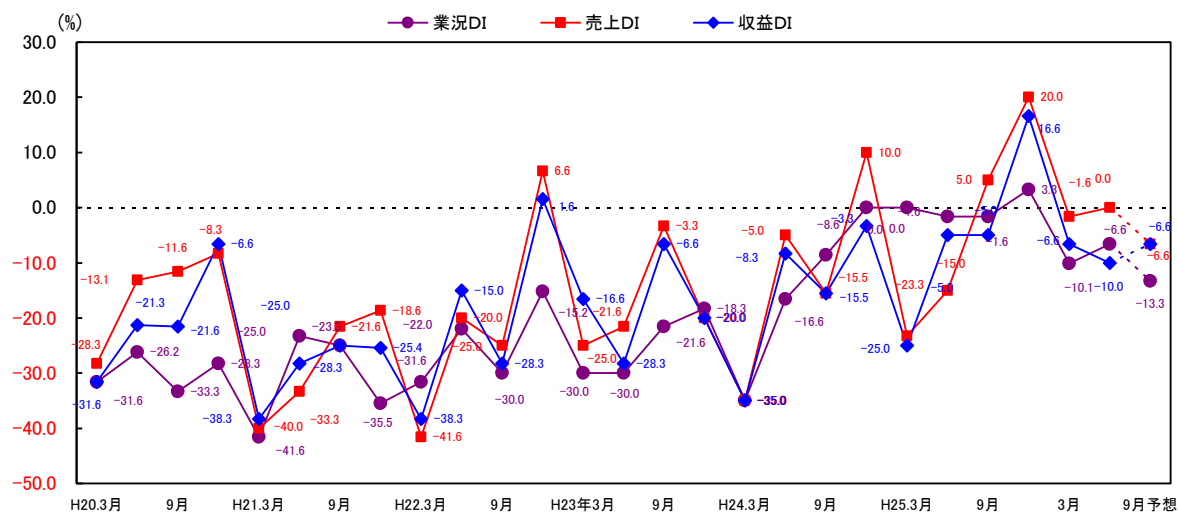
全域における業況DIは▲6.6となり前期比3.5ポイント上昇し、前年同期比5.0ポイント下降となっています。売上DIは0.0となり前期比1.6ポイント上昇、前年同期比15.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲10.0となり前期比3.4ポイント下降、前年同期比5.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲25.0となり前期比3.5ポイント上昇し、前年同期比14.3ポイント下降し、大分地区が10.7となり前期比7.2ポイント上昇し、前年同期比7.2ポイント上昇で、県北地区が0.0となり前期比33.3ポイント下降し、前年同期比25.0ポイント下降しています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲13.3となり今期比6.7ポイント下降となっています。売上予想DIは▲6.6となり今期比6.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲6.6となり今期比3.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲25.0、大分地区が▲3.5、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	21.2%
同業者間の競争激化	17.4%
材料価格の上昇	10.6%
利幅縮小	9.0%
人手不足	9.0%

最重要経営施策

経費節減	24.3%
販路拡大	23.5%
宣伝・広告強化	13.0%
人材確保	10.5%
技術力強化	6.5%
提携先探す	4.8%
店舗・設備改装	4.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 県内より福岡東京方面での受注が活発。(ソフト開発販売)
- 同業者間の料金競争は激化しており、ターゲットの絞り込みが課題。(ホテル業)
- 仕入れ値の上昇が収益を圧迫。夏向けメニューを刷新する際に消費税増税分を転嫁させる予定。(飲食業)
- 増税分の価格転嫁はまだ行っていない。仕入れ価格は上昇している。(飲食業)
- GWの売上は例年並みであった、インターネットサイトで家族連れの客をターゲットとした広告を出しており、家族連れ顧客が増加している。(旅館業)
- 韓国の旅行船沈没事故の影響で韓国からの団体旅行のキャンセルが相次いでいる、GW後～7月にかけては、増税後ということもあり宿泊客数減少する見込み。(ホテル業)
- 本年は海外からの旅行者が増加したが仕入れ値上げにより、利益は増加していない。消費税の増加に伴い、宿泊料金も値上げ今のことお客様からの悪い反応はない。(旅館業)

建設業

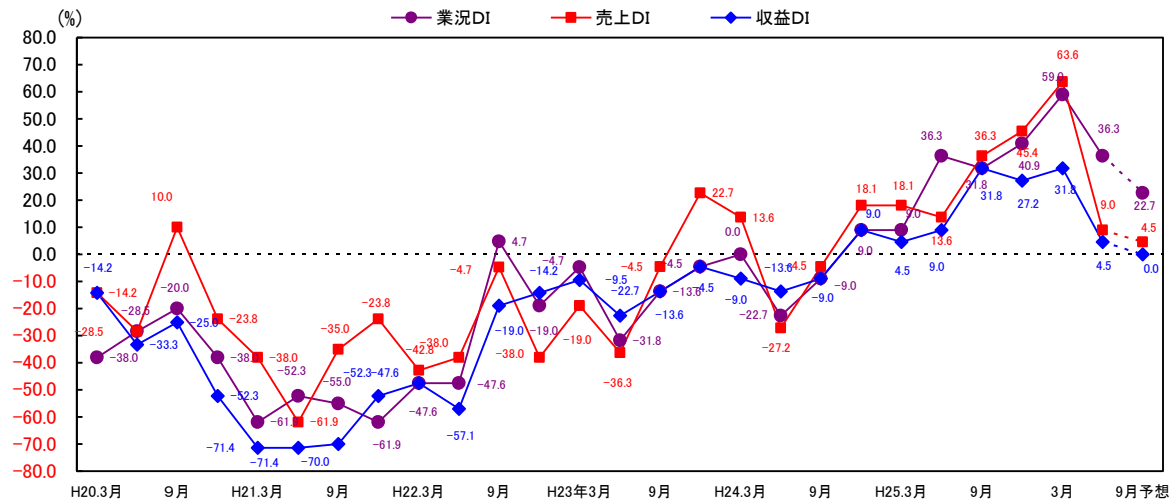
● 当期(4月～6月)の景況

全域における業況DIは36.3となり前期比22.7ポイント下降、前年同期比同水準となっています。売上DIは9.0となり前期比54.6ポイント下降、前年同期比4.6ポイント下降となっています。収益DIは4.5となり前期比27.3ポイント下降、前年同期比4.5ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が40.0となり前期比20.0ポイント下降、前年同期比同水準で、大分地区が11.1となり前期比55.5ポイント下降、前年同期比44.4ポイント下降で、県北地区が62.5となり前期比12.5ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは22.7となり今期比13.6ポイント下降となっています。売上予想DIは4.5となり今期比4.5ポイント下降となっています。収益予想DIは0.0となり今期比4.5ポイント下降となっています。地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が▲22.2、県北地区が62.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

材料価格の上昇	21.9%
同業者間の競争激化	14.6%
人手不足	12.1%
利幅縮小	12.1%
下請の確保難	9.7%
売上停滞・減少	7.3%

最重要経営施策

経費節減	30.0%
販路拡大	25.0%
情報力強化	17.5%
人材確保	10.0%
技術力向上	5.0%

経営者のみなさまの主なコメント

○売上は前期より増加したが原材料費の値上がり、経費の増加などにより利幅が縮小している。(建設業)
 ○特別大きな変化はないが公共事業の受注について明るい兆しも見えてきた。(建設業)
 ○昨年は大分駅裏のマンション建設ラッシュで受注に対応していけない状況であったが、現在は工事もすべて終了した。今後の受注に不安がある。(システムキッチン設備業)
 ○受注工事は安定的に確保、今期は売上・利益とも増加の見通し。(建築業)
 ○4月までは外注先の人手不足、材料不足等により繁忙。5月以降は消費税増税もあり落ち着いた模様。(建設業)

不 動 産 業

● 当期(4月～6月)の景況

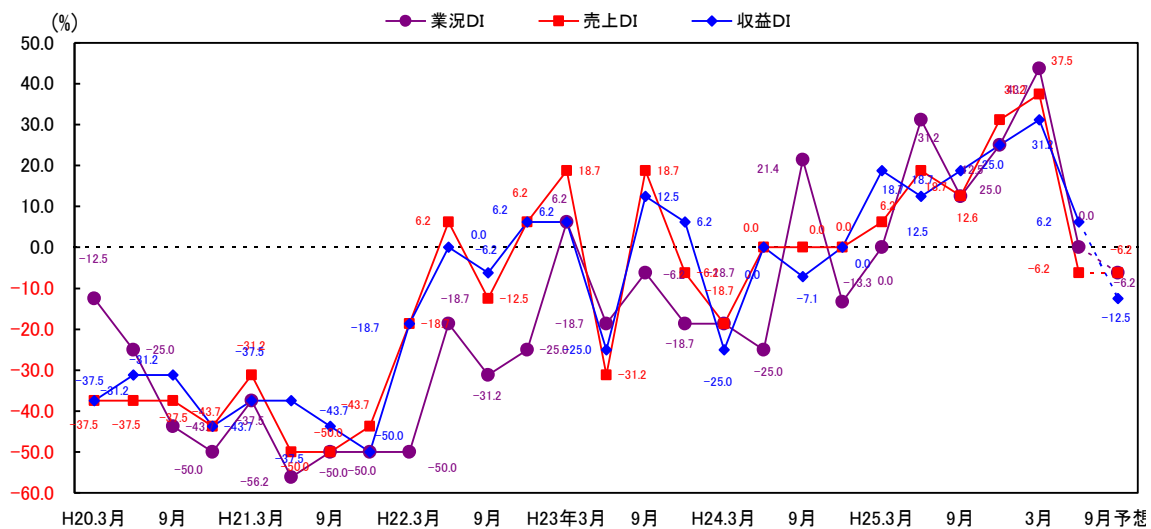
全域における業況DIは、0.0となり前期比43.7ポイント下降、前年同期比31.2ポイント下降となっています。売上DIは▲6.2となり前期比43.7ポイント下降、前年同期比24.9ポイント下降となっています。収益DIは6.2となり前期比25.0ポイント下降、前年同期比6.3ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲14.2となり前期比28.4ポイント下降、前年同期比57.0ポイント下降で、大分地区が0.0となり前期比60.0ポイント下降、前年同期比同水準、県北地区が25.0となり前期比50.0ポイント下降、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲6.2となり、今期比6.2ポイント下降となっています。売上予想DIは▲6.2となり、今期比同水準となっています。収益予想DIは▲12.5となり、今期比18.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲14.2、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	29.4%
商品物件困足	17.6%
人件費増加	11.7%
問題なし	8.8%
売上停滞・減少	8.8%

最重要経営施策

情報力強化	37.5%
経費節減	15.6%
販路拡大	12.5%
宣伝・広告強化	12.5%
不動産の有効活用	6.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- 対前期と売上高・収益ともに変化なし。今後は、減少を予想している。販路の拡大が必要。(売買仲介)
- 売上に関しては例年通り。新規顧客と宣伝に課題を感じている。(売買仲介)
- 社員は女性のみであり、育児休暇等の福利厚生が課題。(不動産賃貸業)
- 増税前の1～3月は繁忙で売上増。4～5月は大きな動きは無い。(売買仲介)
- 前年度は増税により不動産が動いたが今年度は落ち着いている。(不動産仲介)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	△ 13.5	△ 19.3	△ 36.0	△ 20.0	△ 6.6	36.3	0.0
	7月～9月予想	△ 11.2	△ 9.6	△ 27.8	0.0	△ 13.3	22.7	△ 6.2
売 上	4月～6月実績	△ 9.8	△ 19.3	△ 31.1	12.0	0.0	9.0	△ 6.2
	7月～9月予想	△ 4.2	△ 3.2	△ 8.1	4.0	△ 6.6	4.5	△ 6.2
受 注 残	4月～6月実績	△ 7.5	△ 16.1	***	***	***	4.5	***
	7月～9月予想	△ 5.7	△ 6.4	***	***	***	△ 4.5	***
施工高	4月～6月実績	4.5	***	***	***	***	4.5	***
	7月～9月予想	18.2	***	***	***	***	18.1	***
収 益	4月～6月実績	△ 15.3	△ 19.3	△ 37.7	0.0	△ 10.0	4.5	6.2
	7月～9月予想	△ 10.7	△ 32.2	△ 11.4	0.0	△ 6.6	0.0	△ 12.5
販売価格	4月～6月実績	16.0	16.1	9.8	13.7	26.6	13.6	6.2
	7月～9月予想	0.5	6.4	△ 6.5	8.0	4.4	△ 4.5	0.0
仕入価格	4月～6月実績	38.6	41.9	32.7	40.0	40.0	59.0	18.7
	7月～9月予想	17.7	38.7	8.1	4.0	20.0	31.8	6.2
在庫	4月～6月実績	3.9	3.2	8.1	0.0	***	0.0	0.0
	7月～9月予想	3.2	6.4	3.2	12.0	***	0.0	△ 12.5
資金繰り	4月～6月実績	△ 7.0	△ 3.2	△ 21.3	△ 8.0	△ 5.0	18.1	0.0
	7月～9月予想	△ 7.0	△ 9.6	△ 21.3	△ 4.0	△ 3.3	18.1	0.0
残業時間	4月～6月実績	0.5	△ 6.4	△ 4.9	0.0	3.3	18.1	0.0
	7月～9月予想	△ 2.8	△ 9.6	△ 4.9	△ 4.0	△ 1.6	13.6	△ 6.2
人手状況	4月～6月実績	△ 8.4	0.0	△ 1.6	4.0	△ 16.9	△ 36.3	0.0
	7月～9月予想	△ 7.0	6.4	△ 1.6	0.0	△ 16.9	△ 27.2	0.0

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	△ 25.3	△ 18.7	△ 46.1	△ 22.2	△ 25.0	40.0	△ 14.2
	7月～9月予想	△ 16.5	△ 6.2	△ 26.9	△ 11.1	△ 25.0	40.0	△ 14.2
売 上	4月～6月実績	△ 9.9	△ 12.5	△ 26.9	0.0	△ 7.1	40.0	0.0
	7月～9月予想	△ 3.3	△ 6.2	3.8	11.1	△ 21.4	0.0	28.5
受 注 残	4月～6月実績	0.0	△ 12.5	***	***	***	40.0	***
	7月～9月予想	△ 19.0	△ 12.5	***	***	***	△ 40.0	***
施工高	4月～6月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	7月～9月予想	20.0	***	***	***	***	20.0	***
収 益	4月～6月実績	△ 22.0	△ 25.0	△ 42.3	△ 11.1	△ 17.8	20.0	0.0
	7月～9月予想	△ 9.9	△ 25.0	△ 3.8	11.1	△ 17.8	△ 20.0	14.2
販売価格	4月～6月実績	16.5	18.7	11.5	0.0	28.5	40.0	△ 14.2
	7月～9月予想	1.1	12.5	0.0	11.1	0.0	△ 60.0	14.2
仕入価格	4月～6月実績	44.0	56.2	38.4	33.3	46.4	80.0	14.2
	7月～9月予想	25.3	56.2	26.9	0.0	17.8	40.0	0.0
在庫	4月～6月実績	7.9	6.2	19.2	0.0	***	0.0	△ 14.2
	7月～9月予想	6.3	6.2	11.5	11.1	***	0.0	△ 14.2
資金繰り	4月～6月実績	△ 12.1	△ 6.2	△ 26.9	0.0	△ 10.7	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 13.2	△ 18.7	△ 23.0	0.0	△ 10.7	0.0	0.0
残業時間	4月～6月実績	△ 2.2	△ 18.7	△ 3.8	0.0	△ 3.5	40.0	14.2
	7月～9月予想	△ 2.2	△ 12.5	3.8	△ 11.1	△ 7.1	40.0	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 5.5	6.2	△ 3.8	11.1	△ 14.2	△ 40.0	0.0
	7月～9月予想	△ 7.7	6.2	△ 7.6	0.0	△ 14.2	△ 40.0	0.0

大分地区

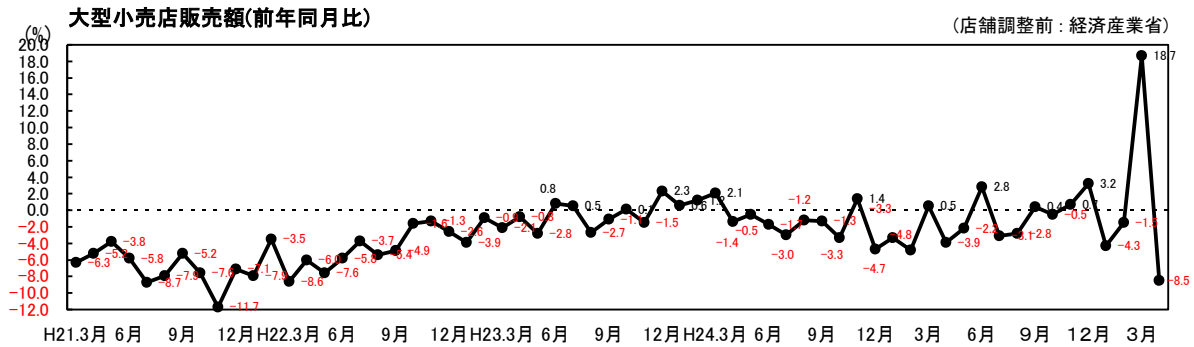
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	△ 8.3	△ 60.0	△ 22.2	△ 20.0	10.7	11.1	0.0
	7月～9月予想	△ 16.7	△ 20.0	△ 33.3	△ 10.0	△ 3.5	△ 22.2	0.0
売 上	4月～6月実績	△ 11.9	△ 80.0	△ 33.3	20.0	7.1	△ 11.1	0.0
	7月～9月予想	△ 11.9	△ 20.0	△ 18.5	△ 10.0	7.1	△ 33.3	△ 40.0
受 注 残	4月～6月実績	△ 28.6	△ 60.0	***	***	***	△ 11.1	***
	7月～9月予想	△ 28.6	△ 20.0	***	***	***	△ 33.3	***
施工高	4月～6月実績	△ 22.2	***	***	***	***	△ 22.2	***
	7月～9月予想	△ 33.3	***	***	***	***	△ 33.3	***
収 益	4月～6月実績	△ 17.9	△ 60.0	△ 33.3	△ 10.0	△ 3.5	△ 22.2	20.0
	7月～9月予想	△ 17.9	△ 80.0	△ 18.5	△ 10.0	3.5	△ 44.4	△ 40.0
販売価格	4月～6月実績	20.2	0.0	14.8	20.0	25.0	22.2	40.0
	7月～9月予想	△ 3.5	0.0	△ 14.8	0.0	3.5	11.1	△ 20.0
仕入価格	4月～6月実績	35.7	60.0	25.9	40.0	32.1	55.5	40.0
	7月～9月予想	13.1	60.0	△ 7.4	0.0	21.4	33.3	20.0
在庫	4月～6月実績	0.0	0.0	△ 3.7	0.0	***	0.0	20.0
	7月～9月予想	3.6	20.0	△ 3.7	20.0	***	0.0	0.0
資金繰り	4月～6月実績	△ 9.5	△ 20.0	△ 18.5	△ 20.0	△ 3.5	11.1	0.0
	7月～9月予想	△ 8.3	△ 20.0	△ 22.2	△ 10.0	0.0	11.1	0.0
残業時間	4月～6月実績	2.4	0.0	△ 3.7	0.0	11.1	11.1	△ 20.0
	7月～9月予想	△ 2.6	0.0	△ 11.1	0.0	3.7	0.0	△ 20.0
人手状況	4月～6月実績	△ 7.2	20.0	3.7	0.0	△ 18.5	△ 33.3	0.0
	7月～9月予想	△ 3.6	20.0	7.4	0.0	△ 18.5	△ 11.1	0.0

県北地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	2.5	0.0	△ 50.0	△ 16.6	0.0	62.5	25.0
	7月～9月予想	12.5	△ 10.0	△ 12.5	33.3	0.0	62.5	0.0
売 上	4月～6月実績	△ 5.0	0.0	△ 37.5	16.6	0.0	12.5	△ 25.0
	7月～9月予想	10.0	10.0	△ 12.5	16.6	0.0	50.0	△ 25.0
受 注 残	4月～6月実績	0.0	0.0	***	***	***	0.0	***
	7月～9月予想	27.8	10.0	***	***	***	50.0	***
施工高	4月～6月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	7月～9月予想	75.0	***	***	***	***	75.0	***
収 益	4月～6月実績	5.0	10.0	△ 37.5	33.3	0.0	25.0	0.0
	7月～9月予想	2.5	△ 20.0	△ 12.5	0.0	0.0	62.5	△ 25.0
販売価格	4月～6月実績	7.5	20.0	△ 12.5	33.3	25.0	△ 12.5	0.0
	7月～9月予想	5.0	0.0	0.0	16.6	0.0	12.5	0.0
仕入価格	4月～6月実績	32.5	10.0	37.5	50.0	50.0	50.0	0.0
	7月～9月予想	10.0	0.0	0.0	16.6	25.0	25.0	0.0
在庫	4月～6月実績	2.8	0.0	12.5	0.0	***	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 2.8	0.0	0.0	0.0	***	0.0	△ 25.0
資金繰り	4月～6月実績	10.0	10.0	△ 12.5	0.0	25.0	37.5	0.0
	7月～9月予想	10.0	10.0	△ 12.5	0.0	25.0	37.5	0.0
残業時間	4月～6月実績	2.5	10.0	△ 12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	7月～9月予想	△ 2.5	△ 10.0	△ 12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 17.5	△ 20.0	△ 12.5	0.0	△ 25.0	△ 37.5	0.0
	7月～9月予想	△ 12.5	0.0	△ 12.5	0.0	△ 25.0	△ 37.5	0.0

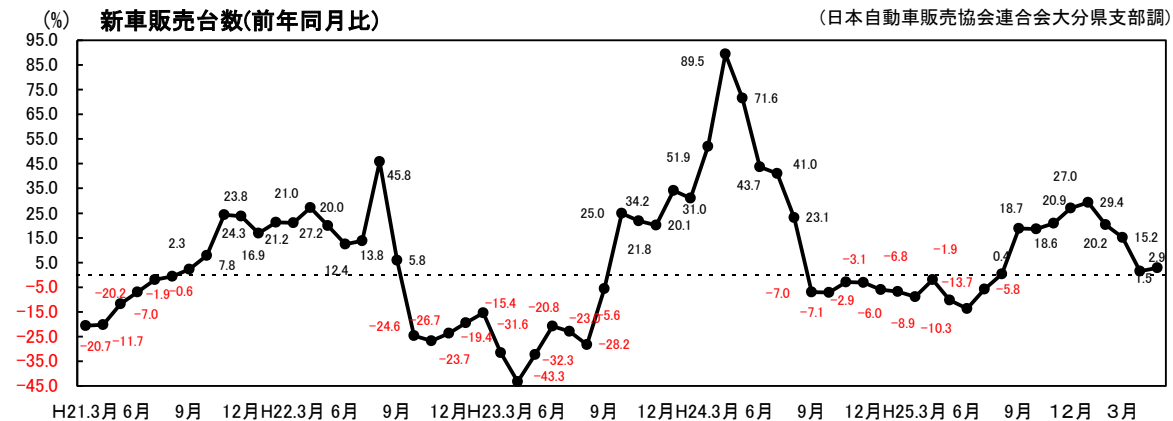
大型小売店販売額

平成26年4月の県内大型小売店販売額は83億3千9百万円で、前年同月比8.5ポイントの下降となっています。店舗調整後は前年同月比8.5ポイントの下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比13.3ポイントの下降、飲食料品が0.6ポイントの下降、その他の商品が16.3ポイントの下降となっています。



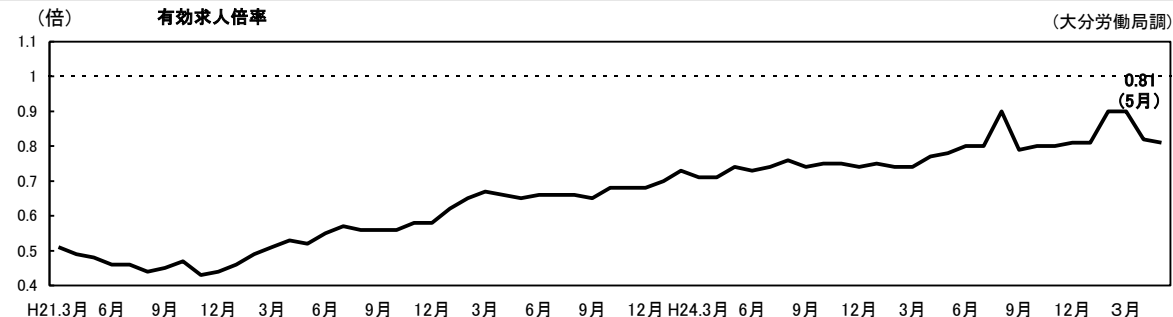
新車販売台数

5月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は3,919台で前年同月を2.9%上回り、10ヵ月連続のプラスとなりました。車種別では、普通乗用車が709台で前年同月比8.2%減少し、小型乗用車が896台で前年同月比4.4%増加となっています。また、軽四輪車の合計は2,078台で前年比7.7%上回り11ヶ月連続のプラスとなりました。



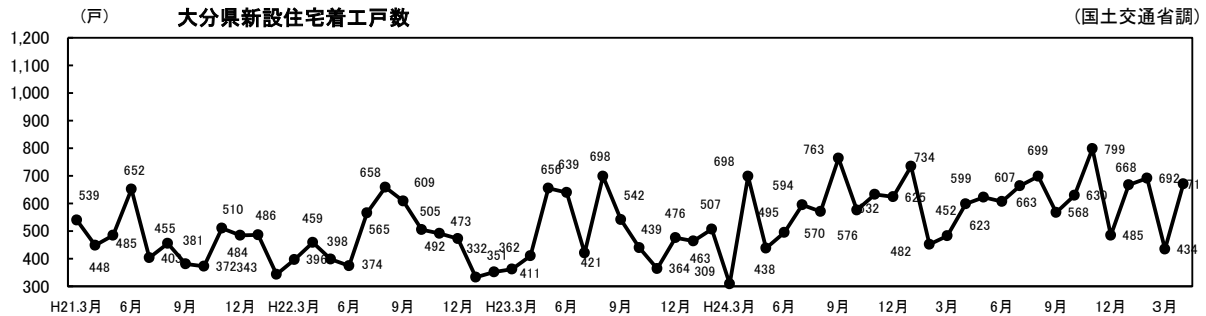
有効求人倍率

平成26年3月の県内有効求人倍率は0.90倍で全国平均は1.07倍、4月の県内有効求人倍率は0.82倍で全国平均は1.08倍、5月の県内有効求人倍率は0.81倍で全国平均は1.09倍、となっています。平成26年5月の地域別では大分管内が0.84倍、別府管内が0.66倍、中津管内が0.82倍となっています。



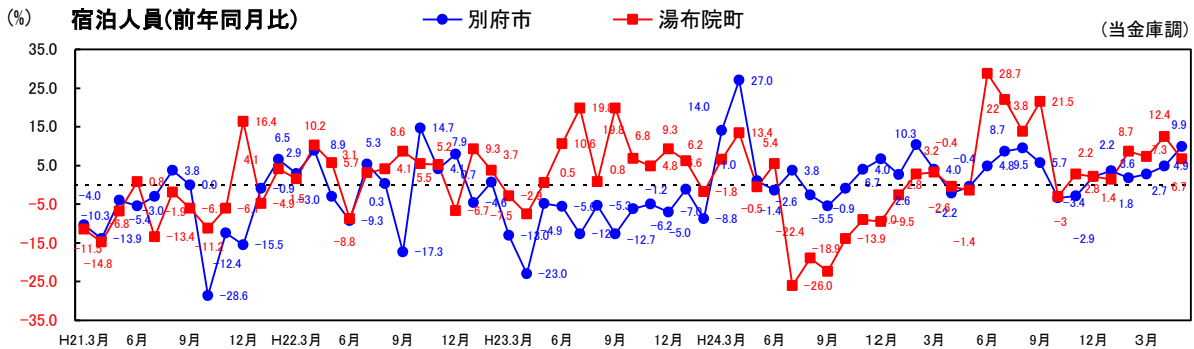
新設住宅着工戸数

平成26年3月の住宅着工戸数は434戸、4月は671戸でした。4月の671戸のうち、持家は283戸、貸家は286戸、分譲住宅は65戸となっています。



観光動向

平成26年4月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で4.9ポイントの上昇、湯布院地区で12.4ポイントの上昇、5月は別府地区で9.9ポイントの上昇、湯布院地区で6.7ポイントの上昇となっています。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成26年4月の県内の企業倒産件数は3件で2億7千3百万円、5月は5件で3億4千万円、6月は6件で5億4千5百万円となっています。

